

2024年度 和泉短期大学 シラバス

授業科目名	子ども家庭福祉		教員氏名	中野陽子	
科目ナンバー	II-4-3				
学年	1年		開講学期	後期	
授業形態	講義		単位数	2単位	
必修・選択	卒業必修		実務経験	社会福祉士	7年
テーマ	子どもの最善の利益を護るために、子どもとその家族を支える福祉施策について学ぶ。				
ディプロマポリシー	1.保育・福祉に関する基礎的な学修を通して、幅広い教養を身に付け、多様な人々を支える社会の理念・仕組みについての原理を理解している。				○
	2.保育・福祉の専門的な知識・技能を修得し、思考力、判断力、表現力、コミュニケーション力を身に付けている。				○
	3.保育・福祉の専門職として多世代にわたる人々の権利を護り、愛と奉仕の精神を実践できる。				○
カリキュラムポリシー	科目群Ⅰ 教養	キリスト教主義の精神を踏まえて、保育と人権にかかわる人としての価値観を再構築する			
	科目群Ⅱ 原理	様々な世代を支える社会の理念・仕組みについての学びを通して、愛と奉仕に基づく人間観を養う			
	科目群Ⅲ 知識・技能	子どもの心と体とそれを取り巻く環境を知り、共に成長するための様々な支援の内容と方法に関する専門的な知識と技能を身につける			○
	科目群Ⅳ 実践	学んだ知識、技能、価値観を現場に即して臨機応変に実践できる体験を積み、キャリア形成の基礎を培う			
授業の概要	教科書および授業内で配布する資料を中心に講義形式で行う。より具体的な理解を促すために、新聞記事やDVD等視覚教材も使用する。 学生によるグループワークやディスカッションも実施する。 社会福祉士として障がい者施設での勤務経験の他、児童養護施設等での実習経験、子ども家庭福祉ゼミに所属し研究したことを踏まえ授業を展開する。				
授業の到達目標	①子どもとその家族を取り巻く社会状況を理解し、私たちににとって身近な生活課題としての「子ども家庭福祉」について論じることができる。				
	②子ども家庭福祉の理念・歴史・制度の概要を理解し説明できる。				
	③子どもの権利を護る保育者（保育所をはじめとする児童福祉施設や幼稚園等において子どもの成長発達を援助する専門職）としての価値観・倫理観を理解し実践できる。				
テキスト	みらい×子どもの福祉ボックス『子ども家庭福祉』喜多 一憲 監修・堀場 純矢 編／保育福祉小六法2023				
参考書	保育所保育指針、授業内で随時紹介				
ポートフォリオ	授業内で指示				
往還型授業 (双方向授業)	授業内での疑問や、学びを進める中で生じた不明点を、対話を通じて授業内で明確にする				○
	リアクションペーパーを用いて授業内での疑問等を対話形式にて対応する				
	リアクションペーパーの内容やテーマをICTを用いて授業内で受講者全員に公開・共有し、往還的理解を深める				
	ICT(Googleクラスルーム含む)を活用した課題提示・回収、アンケート等を実施する				○
その他:					
成績評価方法	区分	割合(%)	内容		
	定期試験	0	実施しない		
	授業内課題参加度 出席態度等	100	総括レポート40%、授業取り組み60%(小テスト・リアクションペーパー・課題・発表等)		
	その他				

授業概要と課題

第1回	テーマ 内容	オリエンテーション・はじめに 子ども家庭福祉を学ぶ意義について	
	授業外学習	授業を振り返り、保育者を目指す自分にとって、子ども家庭福祉を学ぶ意義についてまとめる。	210分
第2回	テーマ 内容	子どもと家庭を取りまく現状①(子どもの定義、家族機能,データから見る子どもを取り巻く日本の生活環境)	
	授業外学習	Chppter1と配布資料を熟読し、子ども家庭福祉を取り巻くデータを振り返り、現状と課題についてまとめる。	210分
第3回	テーマ 内容	Chppter1 子どもと家庭を取りまく現状②(少子高齢社会についてディスカッション)	
	授業外学習	第1章を熟読し、少子高齢社会について自身の考えをまとめる。	210分
第4回	テーマ 内容	子どもの権利について学ぶ	
	授業外学習	Chppter2を熟読し子どもの権利について学んだことをまとめる。子どもの権利条約を熟読する。	210分
第5回	テーマ 内容	ひとり親家庭への福祉(ひとり親家庭への福祉施策を学ぶ)グループディスカッション	
	授業外学習	Chppter6を熟読し、授業で学んだことを振り返り、ひとり親家庭の貧困状況について調べまとめる。	210分
第6回	テーマ 内容	子ども家庭福祉の歴史①(イギリス・アメリカを中心に子ども家庭福祉の変遷を学ぶ)	
	授業外学習	Chppter3を熟読し、イギリスの子ども家庭福祉の変遷について、年代順に重要項目をまとめる。	210分
第7回	テーマ 内容	子ども家庭福祉の歴史②(日本の子ども家庭福祉の変遷を学ぶ)	
	授業外学習	Chppter3を熟読し、日本の子ども家庭福祉の変遷について、年代順に重要項目をまとめる。また、子ども家庭福祉の先駆者の取り組みをまとめる。	210分
第8回	テーマ 内容	子ども家庭福祉の制度と法体系(日本の子ども家庭福祉に関する法律・制度を学ぶ)グループワーク	
	授業外学習	Chppter4を熟読し、各法律の要点をまとめたうえで、児童福祉法改正のポイントについてまとめる。	210分
第9回	テーマ 内容	子ども家庭福祉の制度と法体系(日本の子ども家庭福祉に関する法律・制度を学ぶ)グループワーク・発表	
	授業外学習	Chppter4を熟読し、発表を通じて得られた知見をまとめる。	210分

第10回	テーマ 内容	子育て支援・次世代育成支援と保育施策 個人ワーク	
	授業外学習	Chapter5を熟読し、子ども・子育て支援事業についてまとめる。	210分
第11回	テーマ 内容	子ども家庭福祉行政と実施機関と専門職(日本の子ども家庭福祉に関する行政機関・財源・児童福祉施設について学ぶ)、ドメスティック・バイオレンス	
	授業外学習	Chapter11を熟読し、児童福祉施設やそこで働く専門職の機能・役割についてまとめる。 Chapter7を熟読し、DVの状況をまとめ、DVが子どもの育ちにどのような影響を与えるかまとめる。	210分
第12回	テーマ 内容	児童虐待、情緒障がい・少年非行	
	授業外学習	Chapter7を熟読し、児童虐待の状況をまとめ、児童虐待が子どもの育ちにどのような影響を与えるかまとめる。Chapter10を熟読し、少年法改正についておよび少年非行の防止のために必要な対応について自身の考えをまとめる。	210分
第13回	テーマ 内容	まとめ・子ども家庭福祉の学びを振り返る	
	授業外学習	子ども家庭福祉について授業で学んだことを総括する。	210分

#### 課題に対するフィードバックの方法

- ・小テストの考察を授業時に口頭やパワーポイント等でフィードバックを行う。
- ・本日の学びのアウトプットを記載し学生同士で発表しあいそのフィードバックも行う。

2024年度 和泉短期大学 シラバス

授業科目名	子ども家庭福祉		教員氏名	横地厚	
科目ナンバー	II-4-3				
学年	1年		開講学期	後期	
授業形態	講義		単位数	2単位	
必修・選択	卒業必修		実務経験	ソーシャルワーカー(社会福祉士)	16年
テーマ	子どもの最善の利益に向けて、子どもとその家族を支える福祉施策と支援を学ぶ。				
ディプロマポリシー	1.保育・福祉に関する基礎的な学修を通して、幅広い教養を身に付け、多様な人々を支える社会の理念・仕組みについての原理を理解している。				○
	2.保育・福祉の専門的な知識・技能を修得し、思考力、判断力、表現力、コミュニケーション力を身に付けている。				○
	3.保育・福祉の専門職として多世代にわたる人々の権利を護り、愛と奉仕の精神を実践できる。				○
カリキュラムポリシー	科目群Ⅰ 教養	キリスト教主義の精神を踏まえて、保育と人権にかかわる人としての価値観を再構築する			
	科目群Ⅱ 原理	様々な世代を支える社会の理念・仕組みについての学びを通して、愛と奉仕に基づく人間観を養う			○
	科目群Ⅲ 知識・技能	子どもの心と体とそれを取り巻く環境を知り、共に成長するための様々な支援の内容と方法に関する専門的な知識と技能を身につける			
	科目群Ⅳ 実践	学んだ知識、技能、価値観を現場に即して臨機応変に実践できる体験を積み、キャリア形成の基礎を培う			
授業の概要	保育士として求められる子どもと家族の生活問題や子ども家庭福祉に関する基本的な知識や支援について、講義や演習等を通して、基礎的理解を深めます。 授業担当者は、ソーシャルワーカー(社会福祉士)として、行政や社会福祉協議会に勤務していました。こうした経験から、住み慣れた地域で安心して暮らしていくために、子どもへの理解と家族への支援について、理論と実践をふまえ、受講者の皆さん一人ひとりが考える機会をつくります。				
授業の到達目標	日本における現代の子育てに関する諸問題を理解し、なぜ子育て支援が必要なのかを述べることができる				
	子どもの権利を護るための制度や政策について述べるができる				
	地域にある子育て支援に関する社会資源について述べるができる				
テキスト	プリント配布します。				
参考書	授業時に紹介します。				
ポートフォリオ	授業時に指示します。				
往還型授業 (双方向授業)	授業内での疑問や、学びを進める中で生じた不明点を、対話を通じて授業内で明確にする				○
	リアクションペーパーを用いて、授業内での疑問等を対話形式にて対応す				○
	リアクションペーパーの内容やテーマをICTを用いて授業内で受講者全員に公開・共有し、往還的理解を深める				
	ICT(Googleクラスルーム含む)を活用した課題提示・回収、アンケート等を実施する				○
	その他:				
成績評価方法	区分	割合(%)	内容		
	定期試験	0	実施しない		
	授業内課題参加度出席態度等	100	学習内容定着評価(レポート40%、確認テスト30%)、授業に臨む姿勢(30%)		
	その他	0	なし		

授業概要と課題

第1回	テーマ 内容	オリエンテーション、子ども家庭福祉の意義	
	授業外学習	配布プリントに目を通し、内容の理解と疑問点等を整理する	210分
第2回	テーマ 内容	現代社会と子ども家庭福祉	
	授業外学習	配布プリントに目を通し、内容の理解と疑問点等を整理する	210分
第3回	テーマ 内容	子ども家庭福祉の歴史的展開	
	授業外学習	配布プリントに目を通し、内容の理解と疑問点等を整理する	210分
第4回	テーマ 内容	子ども家庭福祉の法制度と実施体制	
	授業外学習	配布プリントに目を通し、内容の理解と疑問点等を整理する	210分
第5回	テーマ 内容	子ども家庭福祉施策の現状と課題	
	授業外学習	配布プリントに目を通し、内容の理解と疑問点等を整理する	210分
第6回	テーマ 内容	地域における子育て支援	
	授業外学習	配布プリントに目を通し、内容の理解と疑問点等を整理する	210分
第7回	テーマ 内容	障害のある子どもへの支援と実際	
	授業外学習	配布プリントに目を通し、内容の理解と疑問点等を整理する	210分
第8回	テーマ 内容	貧困家庭の子どもと家族への支援	
	授業外学習	配布プリントに目を通し、内容の理解と疑問点等を整理する	210分
第9回	テーマ 内容	学習内容定着評価(確認テストと解説)	
	授業外学習	配布プリントに目を通し、内容の理解と疑問点等を整理する	210分

第10回	テーマ 内容	社会資源の意義、地域にある社会資源の把握	
	授業外学習	配布プリントに目を通し、内容の理解と疑問点等を整理する	210分
第11回	テーマ 内容	地域にある社会資源マップの作成	
	授業外学習	配布プリントに目を通し、内容の理解と疑問点等を整理する	210分
第12回	テーマ 内容	地域にある社会資源マップの発表	
	授業外学習	配布プリントに目を通し、内容の理解と疑問点等を整理する	210分
第13回	テーマ 内容	総括、学習内容定着評価(課題レポート)	
	授業外学習	配布プリントに目を通し、内容の理解と疑問点等を整理する	210分

課題に対するフィードバックの方法

・授業内および授業外学習に関する質問等は、授業時やGoogle classroom、オフィスパワー(別途掲示)にて対応する。